

# 田浦地域運営協議会 広報



地域運営協議会とは、各地域活動団体の連携、ネットワーク化を図り、地域で暮らす人々が主体となって地域の課題を解決するための地域自治組織です。

・田浦地域とは、船越、田浦、長浦の各町、港が丘です。

## 平成27年度の事業と取組みについて

当地域運営協議会では、今年度も引き続き3つのテーマで事業を行います。4月から地域運営協議会委員16名と委員以外の地域の方からも参加いただき、各テーマごとに検討チーム、実行委員会をあらたに組織しながら具体的な取組みについて協議していきます。

### ●安心安全に関する事業

安心・安全検討チーム（船越町連合町内会2名、田浦地区民生委員2名、田浦観光協会1名、田浦地区社会福祉協議会1名の計6名）

①緊急時情報カードたうらの配布  
昨年に引き続き行います。ひとり暮らし高齢者世帯を対象に、緊急時に救助や支援をする時に必要な情報を自宅に格納するセットです。

②町内会、自治会単位の災害時、緊急時の要援護者の支援体制づくりの提案

各町内会、自治会で、さまざまな立場の人が、役割分担しながら要援護者の支援を考えるネットワークづくりについて協議します。

③災害時要援護者支援プランの活用と日ごろから助け合える地域づくりのよびかけ

地域運営協議会広報安心安全特集号を作成します。



7月22日第2回委員会風景

スカリン田浦トンネルver.



### ●街の賑わいづくり事業

①田浦の街をPRするイベントの開催

田浦地域イベント実行委員（田浦町連合自治会1名、長浦町連合自治会2名、田浦地区PTA1名の計4名）

②田浦梅林と長浦町（安針塚駅）方面を結ぶ街歩きコースの検討

街歩きコース検討委員（長浦町連合自治会1名、田浦観光協会1名、田浦町連合自治会1名、田浦地区社会福祉協議会1名の計4名）

③田浦トンネルグルメのPRと拡充（船越駅前通り商店会、船越商栄会、田浦行政センター）

### ●次世代をはぐくむ事業（田浦地区社会福祉協議会と共催）

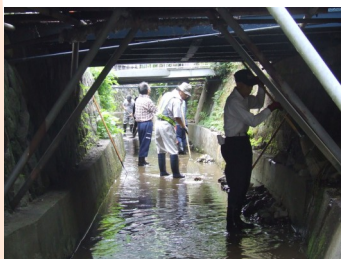
田浦青少年自然の家子どもデイキャンプの開催 平成27年6月13日開催済み 146名参加

デイキャンプ実行委員（田浦地区社会福祉協議会2名、ボーイスカウト12団、15団、田浦地区ボランティアセンター1名）

## 地域で活躍する団体紹介



資源回収に出された自転車のタイヤを外す環境のみなさん



8月8日の高熊川の河川清掃の様子

## 田浦町二・泉自治会環境部 の町内クリーン活動

田浦町2丁目と田浦泉町は高熊川が流れ、田浦梅林の山の麓に位置する静かな街です。

この田浦町二・泉自治会環境部では、リーダーの山口博三さんから環境部の9名が中心となって町の住人のみなさんと力を合わせ熱心にクリーン活動を行っています。

住人のみなさんによる町内28か所のごみ集積所の収集後の定例清掃のほか、随時のクリーン作業、ポイ捨て防止クリーンパトロール（月1回）、町内一斉清掃（月1回）、道路清掃、河川清掃、資源回収時のパトロールを行っています。

同自治会環境部では、市が配布している「ごみと資源物の分け方・出し方」のルールを守らずに出されたごみおよび資源回収物の後処理（写真左上）を行い

裏面につづく

## 脈々と続く田浦町二・泉自治会環境部の清掃活動(高熊川)

正しく分別して出し直しをお願いするなど地道な作業を根気よく行っています。

毎月第2土曜日に行われる町内一斉清掃を8月に取材させていただきました。

田浦泉町は、明治時代には鉱泉が湧き温泉宿などもあったといわれています。

このため、今でも「温泉谷戸」と呼ばれています。山を源流とする高熊川の水は澄んでいて、数



か所でサワガニが見られました。

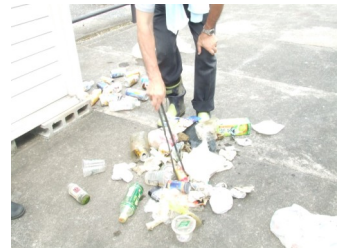
サワガニは、きれいな淡水にのみ生息するカニです。

高熊川の上流から自治会館までの350mを、ポイ捨てされたごみを拾

い、大雨などで集まった石を水の流れの妨げにならないように脇に移動し、水面に発生した藻を取り除いていきます。

町内一斉清掃日としているため、自治会館や川沿いのたくさんのご家庭でも草むしりや清掃をされており、当日できない家庭は別の日に清掃を行うなど地域のみなさんが熱心に活動されていることが大変印象的でした。

山口さんは、「清掃活動は、地域の皆さんの良い交流の場にもなっています。機会があれば、若い世代の方にも体験していただき参加して下さるようになったらうれしい」とおっしゃっていました。



ポイ捨てされたごみを分別して収集日に出します。

## 地域のスポット紹介

## 長浦自治会の夏の風物詩

長浦町の東京湾側の箱崎（現在は国の管理となっており人は住んでいません）は、かつて半島で集落や神社などがありました。この半島の荒井という場所に住んでいた人々は、半島が軍の施設となった明治36年に現在の長浦町5丁目の場所に移りました。

長浦町は、自然に恵まれた土地で、これを町の行事などに活かしています。

夏祭りでは、みこしを先導する役目をもつ榊みこしを、地元で生息する榊（ツバキ科の常緑樹）を使用して制作しています。

長浦の榊みこしは、古くからの伝統を受け継ぎ、榊に7色の色紙が取りつけられ大変美しいことが特徴です。

また、この地区には孟宗竹も多く、この竹で、そうめん流しの道具も制作し好評を得ています。（長浦自治会会長より）



カラフルな榊みこしと色紙を取りつける作業風景



地元の孟宗竹

## 市に要望書を提出しました（長浦地区港湾緑地整備計画への要望）

船越町1丁目284番地付近（北消防署から田浦中学校へ向かって右側）を緑地化し、散策路として市民が利用できるようにすることを内容とする要望書を横須賀市に平成27年3月に提出しました。

横須賀市ホームページもご覧ください



田浦地域運営協議会 検索

## 田浦地域運営協議会

会長 横山 公一

事務局:

〒237-0076

横須賀市船越町6-77

田浦行政センター

地域コミュニティ係

電話 046(861)4181

FAX 046(861)6112

Email

ta-ci@city.yokosuka.kanagawa.jp



9月の地域運営協議会委員会の予定は9月15日(火)19:00  
田浦コミュニティセンター 4階 第2,3学習室  
傍聴いただけます。事務局までご連絡ください。